



# 緑陽

財団法人同友会  
 藤 沢 湘 南 台 病 院  
 藤 沢 ケ ア セ ン タ ー  
 藤 沢 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン  
 居 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー  
 藤 沢 市 長 後 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー  
 ラ イ フ メ デ ィ カ ル フ ィ ッ ト ネ ス

## 2012年を迎えて

財団法人同友会 理事長  
 藤沢湘南台病院 院長  
**鈴木 紳一郎**



2012年が始まりました。まずは東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げたいと思います。震災による壊滅的な被害からの復興はまだ道半ばではありますが、被災地の地域再生は日々進んでおり、一日も早く被災された皆様が普通の暮らしを取り戻される事を切に願っております。

さて、昨年の当法人を振り返りますと、年が明けて2月には病院機能評価Ver.6.0の認定をいただきました。Ver.4.0からの更新でしたが、5年前に初めて受審した時と比較すると準備から受審までともスムーズに進められ、組織の成長を実感する事が出来ました。

3月11日の地震発生当日は、当法人も給湯システムや天井・壁などの一部等に損傷が認められ、万一の事態を考慮し、築年数の古い2号館に入院中の患者様については一時的に1号館へ移動していただき安全を確保しました。その後の計画停電等への対応を通じて、災害時等電力の供給が断たれた状況で病院の機能を維持する事がいかに難しいかを痛感いたしました。また災害支援活動としては、3月21日から4月23日までの約1か月間、日本医師会災害医療チーム(JMAT)に医師、看護師、薬剤師・事務職等で編成する医療チームを計5チーム派遣いたしました。

4月には現在も工事継続中の、緩和ケア病棟・救急外来及びセンター化整備工事が着工されました。また長後地区の高齢者の方々に対するこ

れまで以上の支援・対応に取り組むたいとの思いを込めて、藤沢市からの受託事業である「藤沢市長後地域包括支援センター」を開設いたしました。

7月に関東信越厚生局の適時調査を受けた事も病院としては大きなトピックスでした。

当院が届け出ている施設基準・人員基準が遵守されているかを詳細にチェックしていただき、いくつか受けた指摘事項は全て改善できましたので、今後の適正な保険診療のためにとても良い機会となりました。

医療機器の整備については、9月に実施した既設MRIのアップグレードと眼科の光干渉断層計シラスHD、OCTの導入が挙げられます。それぞれ医療の質向上に功を奏しております。

10月の平成23年度医師臨床研修マッチングでは、募集定員を上回る学生(研修医)からの希望を得て、「全ての職種に対する医療者としての教育、研修の場の確立」を法人目標として掲げる当院としては大変喜ばしい結果となりました。

振り返ってみますと、震災とその後支援、緩和ケア病棟・救急外来及びセンター化整備の準備の2点に精力的に取り組んだ多忙な一年間でありました。

間もなく増築工事が完成し、今年度は兼ねてからの懸案であった緩和ケア病棟の開設、救急医療体制の拡充、患者様の利便性を向上するための「センター化」構想を具体化する年となります。

緩和ケア病棟はがんなどの治癒が難しい状況にある患者様とご家族のための施設で、痛みや苦しみ、悩みを出来る限り和らげ、クオリティ・オブ・ライフ(QOL…生活の質)を改善する事が目的となっています。4月に19床がオープンいたしますが、準備は最終段階に入りました。

救急外来は診療スペースを大幅に拡充し、「ERセンター(仮)」として一般の診察室・処置室との区分を明確にします。同時に各科の診察室の配置は「大腸肛門病AELICセンター(仮)」、「消化器病センター(仮)」、「呼吸器病センター(仮)」、「きれいな傷センター(仮)」等の準備を見据えて変更となります。診察室の移動作業は、診療への影響を最小限に留めるよう配慮して、3月から何工程かに分けて進めてまいります。患者様にはご不便をお掛けする場面もあるかと存じます。ご理解とご協力の程、よろしく願いたします。

当法人は今後も末永く地域の医療、保健、福祉のお役に立てるように、時代の趨勢を見据えて地域の皆様が必要とされる機能を整備してまいります。災害拠点病院や地域支援病院の承認もめざすべき方向の一つだと考えています。そのためにはICU(集中治療室)の整備や病診連携のさらなる推進等、課題はまだ山積みです。

職員一同一丸となって、ますます地域で愛される病院となるよう頑張っていきたいと思っております。本年もどうぞよろしく願いたします。

## 外来拡張・緩和ケア病棟建築工事

藤沢湘南台病院法人事務局 副院長 松本 敦子  
プロジェクトリーダー



財団法人同友会（以下当法人）は、「藤沢湘南台病院」を中心に、老人包括医療を支える「藤沢ケアセンター」、在宅での医療を望まれる方への支援として「居宅介護支援センター」、「訪問看護ステーション」、健康増進を担う「ライフ・メディカル・フィットネス」、そして藤沢市受託事業である「長後地域包括支援センター」によって構成され、これからもより一層皆様の健康をトータル的にサポートして参りたいと考えております。



当法人としまして、将来を鑑み、「緩和ケアと救急医療の充実、そしてセンター化」を目指し、昨年の4月より1号館西側（国道467側）に地上3階建、延べ床面積約1,988㎡（約600坪）の増築棟の工事を始めました。建物の中を階別にご紹介させていただきます。

1階は、患者様に分かり易く受診しやすいをコンセプトに、センター化別外来とする予定で診療ブースを設けました。現在1号館2階にある化学療法室は、増築の1階に移設し4ベッドから8ベッドへと増やし、静かでゆったりとした空間で治療を受けていただきたいとの思いから場所の配慮をしました。

次に、中央に手術室を設置します。既存のAブースと救急外来を改修し、救急外来は診察室と処置室を一か所にまとめ、初療から経過観察までスムーズに行えるよう大幅な拡充を行います。新たに総合診療室・発熱外来室を設置します。

2階は、緩和ケア病棟専用機械浴室、会議室と研修室等を設置します。

3階は緩和ケア病棟になります。病室は19床でそのうち個室が11床、多床室と呼ばれる4人室が2部屋で8床になります。多床室であっても、患者様お一人おひとりのプライバシーが守られるような工夫と、ベッドには自然光が入る窓を設けて、いわゆる「個室的多床室」で療養しやすい造りにしました。付帯設備として、ご家族が患者様のために食事を作ることができるキッチン、そして、食事をゆっくりと楽しみながら過ごしていただく広々としたデイルームは、解放感のある大きな窓を設け南西の角に位置しています。

さて、昨年は東日本大震災の影響で、建築資材や労務不足、節電等、一時は工事続行も危ぶまれましたが、少しの遅れはあるもののオープンを目指し工事を進めております。増築棟の竣工は、新ブースは3月12日、次に、緩和ケア病棟4月1日、そして4月下旬に救急外来と順次段階を追ってのオープンを予定しております。工事期間中、地域の皆様並びに施設をご利用される皆様には、何かとご迷惑およびご不自由をおかけいたしますが何卒、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



平成24年4月OPEN

### 看護師大募集



2012年4月Open  
緩和ケア病棟  
いまあなたの力が必要です。

誰もが健康でありたいからこそ、当院では定期的な健康診断をお勧めしています。自覚症状が出てからの健康の回復は容易なことではありません。

私たちは**健康診断で症状が出る前の発見・治療が健康診断の重要な役割**と考えています。

皆様の健康維持のためにお手伝いさせていただきます。スタッフ一同お待ちしております。

ご予約・お問い合わせ・資料請求は  
TEL. 0466-41-3055(健康管理センター直通)  
平日 午前9:00～午後4:00まで  
土曜 午前9:00～正午まで



## 救急外来より

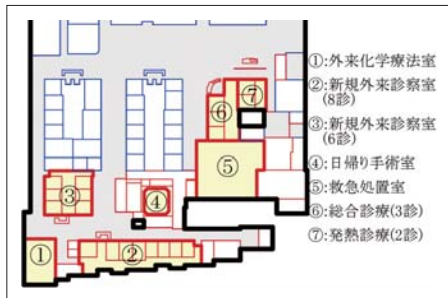
藤沢湘南台病院 救急担当部長 小泉 泰裕

はじめに、東日本大震災で犠牲になられた方々、被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、新しい年になり、当院では4月から新棟が開設され、より一層、充実した診療を行うことを考えております。その一つとして、救急担当部門を救急総合診療科（予定）と改称し、今までのAブースをERセンター（仮称）として救急部門を充実させます。（下図参照）ここで、時間外受診の方、救急患者の方々の診療・処置を行ってまいります。具体的には、救急車からの搬入ベッドが1台から2台に増えます。また、経過観察ベッドは3台、診察室兼観察室は3室、また、発熱・感染症専用診察室も2室と設備が充実します。また、現在も、通常の診療時間帯には専任の救急チームが診療に当たっていますが、スタッフも若干名の増員が見込まれています。これにより今まで以上に地域の救急医療に貢献できるのではないかと考えております。



しかしながら、相変わらず問題点も山積していることも事実です。軽微な外傷やそれほど重症とは思えない症状やタクシー代わりで救急車を利用したり、待ち時間を少なくしたいがために救急時間帯に受診したりする方々が相変わらず多いことなどがあげられます。そのためにERセンター化した際には、現在でも一部行っておりますが、トリアージ（選別）の考え方を導入させていただきます。通常、一般外来では受付順に診療を行って参りますが、ERセンターでは、より優先度が高いと考えられる方から診療させていただきますので、順番が前後したり、場合によっては少々お待ちになる可能性もあることをご理解下さい。



また、当院が担当しているのは主に1次・2次救急の方々ですので、交通事故などによる重度の多発外傷や高度専門医療が緊急に必要な方々に対しては、近隣の横浜医療センター、湘南鎌倉総合病院、藤沢市民病院等の各救急救命センターと連携をとりつつ診療を行って参ります。

最後に、今後も藤沢北部・大和・綾瀬地域、また隣接する横浜西部地域の中核病院としての自覚を持ち、救急医療の観点からも地域住民に信頼される医療を提供して参りたいと思いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 「緩和ケア」って？ 「緩和ケア病棟」ってなあに？

がん看護専門看護師 林 夏子

もし、あなたが、がんになったとしたら、どこで、どのように人生の最期をすごしたいとお考えですか？ 多くの方は、大事な家族のためにも、1日でも永く生きようと、あきらめないでがん治療を選択し、闘病生活を送る事と思います。中には、故立川談志さんのように、世間に笑いを届けるために、喉のがんの治療をしないで、自分が輝ける人生を歩み最期を迎える方もいらっしゃると思います。しかし、どのようなお考えの方でも、がんによって体力や気力が失われ、つらい症状を抱えては、やりたいことは実現できません。



「緩和ケア」とは、終末期だけではなく、がんの診断期、治療期、再発期など、どのような時期でも、がんを患っている患者様の「痛い」「苦しい」「気が晴れない」などの悩みを緩和することで、元気を取り戻し、闘病生活ややりたいことを実現できるようにお手伝いするケアです。「あなたは、がんの治療が望めない場合や終末期の場合、どこで過ごしたいと思いますか？」という一般調査では、がん治療病院、一般病院、自宅、緩和ケア病棟、その他の施設などの選択肢の中から、大半の方が自宅か緩和ケア病棟で過ごしたいと回答したそうです。しかし実際に自宅で最期を迎えるのは、家族の介護負担が大きく、医療機器や急変時の対応に不安があるなどの理由で、想像通りにいかなかったり、断念したりする事も多いようです。また、おそらく多くの方がイメージしている通り、一般病院やがん治療病院は治療が中心の施設の為、検査や手術などのあわただしさを感じたり、面会時間に制限があったりして、患者様と家族がゆっくりすごせるための環境設備は十分とは言えません。

「緩和ケア病棟」は、なるべく病院という環境を感じさせないように配慮された病棟です。例えば患者様の「最期まで自分でトイレに行きたい」という希望に添うように、車いす用のトイレを設置し、洗面台も車いすで使用できるように工夫しています。入浴は温浴による痛みの緩和のために重要ですが、日本人の文化に合った浴槽を用意しています。また、患者様と家族の方がリラックスできる時間を持てるように、家族控え室や談話室という空間や、温かい食事や家庭料理が味わえるように、自由に使える台所をご用意しています。

当院緩和ケア病棟は現在オープンに向けて準備を進めています。私たちは医師や看護師、薬剤師、社会福祉士、栄養士、理学療法士、ボランティア等の、心温まるホスピタリティあふれるケアを提供できるように、そして患者様だけではなく、大切な方を亡くされる方や亡くされた方のケアにも取り組んでいきたいと考えています。

# 外来診療予定表

平成24年 1月現在

科目	月	火	水	木	金	土		
内科	午前	内科新患担当【新患・予約外】	武居北村	松田(香)北村	高橋副院長内門(美)	中村内門(美)	中丸東川	泰磨又は三浦隔週
		消化器科【予約のみ】	三浦	●	●	松田(香)中村	堤新海	高橋副院長三浦
	午後	循環器科【予約のみ】	泰磨	中丸	武居	住田	●	武居泰磨
		消化器科【予約のみ】	堤	三浦	●	高橋副院長	東川中村松田(玲)	●
		循環器科【予約のみ】	武居	●	泰磨	中丸	武居中丸	●
		専門外来						

内科専門外来は「内科新患担当」の医師が診察した上で次回以降の予約を取ります。

科目	月	火	水	木	金	土		
外科	午前	一般外科【新患・予約外】	田村副院長深堀中山	深野副院長熊切	田村副院長	深野副院長深堀	村上	田村副院長
		甲状腺外来【新患・予約外】	●	●	●	●	佐々木	●
	午後	大腸肛門科【予約のみ】	鈴木院長深堀	鈴木院長(再診のみ)	鈴木院長	深堀	鈴木院長(再診のみ)	鈴木院長
		専門外来						

鈴木院長は事前予約制です。予約外で来院された患者様は一般外科を含めた他の医師の診察となり、診察の中で次回の鈴木院長の予約を取ります。電話予約は新患の患者様が対象です。  
**[大腸肛門科新患専用予約] 0466-44-1477 (受付)月～金 9:00～16:00**

科目	月	火	水	木	金	土		
形成外科	午前	【新患・予約外】	三上	開田	三上	●	●	三上

科目	月	火	水	木	金	土		
脳神経外科	午前	【新患・予約外】	●	●	市川	●	●	●
	午後	【新患・予約外】	●	数野第2・4週休診	●	●	●	●
泌尿器科	午前	【新患・予約外】	諏訪(10:00まで)	諏訪	吉田	諏訪	吉田	諏訪又は吉田隔週
	午後	【予約のみ】	●	吉田	吉田	諏訪	●	●
眼科	午前	【新患・予約外】	仙田	堀	永田上石	上石	仙田	永田(第2・4週)諏訪(第1・3・5週)
	午後	【新患・予約外】	永田	堀	永田上石	上石	仙田	●

科目	月	火	水	木	金	土		
皮膚科	午前	【新患・予約外】	小岩	土井	小岩	小岩	小岩	小岩第2・4週休診
	午後	【新患・予約外】	●	土井	小岩	●	小岩	●
整形外科	午前	【新患・予約外】	川口小柳東山梅木	川口星加加藤	大山星加加藤又は東山	大山小柳加藤梅木	棚橋川口小柳東山	担当医
健康スポーツ部	午前	【予約のみ】	川口	福田川口	●	齊藤	福田川口	川口
	午後	【予約のみ】	●	福田	●	●	福田川口	●

健康スポーツ部の診察は初診時にも予約が必要です。

**[予約] 0466-44-1451 (受付)月～金 14:00～16:00**

● 枠は完全予約制です。内科/外科/泌尿器科/整形外科の午後診察は専門外来のみとなり、一般外来は休診です。

**【受付時間】** 午前 8:30～11:00 (診療開始 午前 9:00)  
午後 12:00～15:00 (診療開始 午後 13:30)

# シャトルバス時刻表

平成24年 1月現在

平日					
長後駅・湘南台駅方面 綾瀬市上土棚方面行きでも長後駅で乗降できます。					
藤沢湘南台病院発	長後駅東口	湘南台駅東口	藤沢湘南台病院着		
	7:45		長後駅から病院へ直行	7:50	
	8:05		長後駅から病院へ直行	8:10	
	9:45	9:50	9:55	10:05	
	10:30	10:35	長後駅から病院へ直行	10:40	
	11:00	11:05	11:10	11:20	
	14:00	14:05	14:10	14:20	
	14:35	14:40	長後駅から病院へ直行	14:45	
綾瀬市上土棚方面					
藤沢湘南台病院発	長後駅東口	上土棚団地前	長後駅東口	藤沢湘南台病院着	
	8:20	8:25	8:35	8:48	8:53
	12:35	12:40	12:53	13:06	13:11
上飯田・いちょう団地方面 上飯田・いちょう団地を經由下和田から国道467号線に出て病院に戻ります。					
藤沢湘南台病院発	団地入口	いちょう団地	集会所前	下和田	藤沢湘南台病院着
	9:05	9:10	9:14	9:19	9:23
	13:20	13:25	13:29	13:34	13:38
	14:55	15:00	15:04	15:09	

土曜日					
長後駅・湘南台駅方面 綾瀬市上土棚方面行きでも長後駅で乗降できます。					
藤沢湘南台病院発	長後駅東口	湘南台駅東口	藤沢湘南台病院着		
	7:45		長後駅から病院へ直行	7:50	
	8:05		長後駅から病院へ直行	8:10	
	9:45	9:50	9:55	10:05	
	10:30	10:35	長後駅から病院へ直行	10:40	
	10:50	10:55	長後駅から病院へ直行	11:00	
	12:20	12:25	12:30	12:40	
	14:25	14:30			
綾瀬市上土棚方面					
藤沢湘南台病院発	長後駅東口	上土棚団地前	長後駅東口	藤沢湘南台病院着	
	8:20	8:25	8:35	8:48	8:53
	13:40	13:45	13:58	14:11	14:16
上飯田・いちょう団地方面 上飯田・いちょう団地を經由下和田から国道467号線に出て病院に戻ります。					
藤沢湘南台病院発	団地入口	いちょう団地	集会所前	下和田	藤沢湘南台病院着
	9:05	9:10	9:14	9:19	9:23
	12:55	13:00	13:04	13:09	13:13
					13:20

**無料送迎バスのバス停が新しくきれいになりました！**

平成23年9月の台風15号でバス停の一部が壊れてご迷惑をお掛けしておりましたが、この度新しくなりました。



発行者：財団法人同友会（藤沢湘南台病院）〒252-0802 藤沢市高倉2345 TEL：0466-44-1451 URL：http://www.fj-shonandai.jp/